



7月・8月の図書室開室予定

※学校の下校時刻が早まる等、変更がある場合は学校に合わせます。
最新の開室情報は図書室サイトに掲載します。

日	月	火	水	木	金	土
7/4	5 8:00-17:00	6 自宅学習日	7 期末試験 8:00-15:00	8 8:00-15:00	9 8:00-15:00	10 8:00-16:00
11	12 自宅学習日	13 総合学習・模試 8:00-16:00	14 答案返却日 8:00-16:00	15 家庭研修	16 高等部登校日 8:00-16:00	17 家庭研修
18	19 終業式 8:00-16:00	20 保護者面談標準日 8:00-16:00	21 保護者面談標準日 8:00-16:00	22 海の日	23 スポーツの日	24 夏期講習Ⅰ— 8:00-16:00
25	26 8:00-16:00	27 8:00-16:00	28 8:00-16:00	29 夏期講習Ⅱ— 8:00-16:00	30 8:00-16:00	31 8:00-16:00
8/1	2 8:00-16:00	3 夏期講習Ⅲ— 8:00-16:00	4 8:00-16:00	5 8:00-16:00	6 8:00-16:00	7
8	9 振替休日	10 学校閉校期間	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21 夏期講習Ⅳ— 8:00-16:00
22	23 8:00-16:00	24 8:00-16:00	25 8:00-16:00	26 夏期講習Ⅴ— 8:00-16:00	27 8:00-16:00	28 8:00-16:00
29	30 8:00-16:00	31	9/1 始業式 8:00-17:50			



夏休み貸出を実施します

期末試験最終日7/10(土)から夏休み貸出スタートです！
貸出冊数は引き続き無制限です。返却日は9/4(土)になります。
自分で管理できる冊数を借りてください。



宿題・課題は
計画的にー

夏休み中の図書室利用について

長期休暇中は普段と利用方法が異なることがあります。
注意点をまとめますので、確認しておいてください。

あごく大事！！



入室時に健康観察票の確認をします

健康観察票を持参してください。
必ず自宅で検温・押印をしてから、持ってきてください。
校内で初めて図書室に寄るときは、確認印を押します。



閲覧室利用できます



講習の空き時間等で閲覧室を利用することができます。
座席カードをカウンターで受け取ってから利用してください。
換気のため、窓は開放しています。
エアコンは利用していますが、熱中症にならないよう水分補給等を忘れないでください。フタ付きの飲み物は閲覧室で利用可能です。

講習中などは荷物を置いて座席を確保することができません。
ちょっとした気分転換、お手洗い等はそのまま大丈夫です。貴重品は自分で管理してください。

お話し まちがい探し 「はらぺこねこ」

とっても大きなねこは、まだはらぺこのようです。ついにはけっこんしきをしていた人びとに目をつけました。
下の2枚のイラストには5つのまちがいがあります。いくつ見つけれられるかな？



図書委員会広報班より

いよいよ今月号から図書委員会広報班の記事がスタートします！今回は広報班 3 人のおすすめ本紹介です。盛りだくさんの内容をお楽しみください！

村上春樹さんは今までに『ノルウェイの森』や『羊をめぐる冒険』など世の中に様々な作品を送り出している世界的に人気の日本の小説家です。村上春樹さんの本の特徴としてはファンタジーでありながら淡々と人間味のある行動を表していて独自の世界観を持った作品が多いです。今回は世界的にも高い評価を受けた『1Q84』と『海辺のカフカ』を紹介します。

NO IMAGE

【913/ム】『1Q84』村上春樹:著/新潮社（文庫版もあります）

＜あらすじ＞

時は1984年、スポーツインストラクターと暗殺者の二つの仮面を持つ青豆と小説家と塾講師の天吾が「さきがけ」という宗教団体に関わる事件に巻き込まれていく。そしてある日を境にこの主人公の2人は月が2つに分かれた1Q84年という世界に迷い込んでいく話である。

＜感想＞

本嫌いの私が長編小説を2週間で読み切ってしまったのがこの『1Q84』でした。最初は謎なことが多くつまらなく感じるかもしれませんが。ですが後半になるにつれてその謎が紐解かれているため、ページを進める手が止まらなかったです。村上春樹さんの本は抽象的で何が言いたいのか掴みにくい作品が多いですが、初めて読む人でも推理小説に村上春樹さんらしさが詰まった作品なので比較的読みやすいと思います。是非読んでみてください。

NO IMAGE

【文庫/913/ム】『海辺のカフカ』村上春樹:著/新潮社

＜あらすじ＞

主人公の僕、田村カフカは東京都中野区に住む15歳の中学3年生である。彼は父親にかけられた呪いを回避するため家出を決意する。また同時に猫と話せる知的障害者である老人ナカタは通称「猫殺し」の男を殺害し、その事によって見えない力で「入り口の石」を探さなければならないという使命が生まれる。そして両者はこの「入り口の石」に導かれていく話。

＜感想＞

本を読み終わっても様々なことが抽象的に書かれているため何が言いたいのか掴みにくかったです。しかし私は逆に想像や考察が自由にできる作品だと思いました。例えば本で重要なキーワードとなる「入り口の石」は、私は登場人物達に対して新たな視点を持たせ試練を与える神様みたいな存在と捉えました。「入り口の石」は登場人物の人生を大きく変え困らせているように書かれていますが、逆に各々その状況を納得し新たな考え方を得ることで成長していると感じたためです。だから読む1人1人が感じ方や捉え方が変わるためとても面白いと思います。是非皆さんも読んでみてください。

(4E・F)

品女の図書室には児童文学も多く蔵書されています。この機会に、小学生の頃読んでいた作品を読み直してはいかがでしょうか？きっと以前とは違うような見方で作品を楽しめると思います。

NO
IMAGE

【文庫 943/ケ】『飛ぶ教室』エーリッヒ・ケストナー:著/池内紀:訳/新潮社

私のおすすめ作品はエーリッヒ・ケストナー作の『飛ぶ教室』です。

主役はドイツの寄宿学校に通う5人の少年たち。十代の多感な少年たちが、知恵と勇気を出し合いながら時に諍い、時に涙を流しながらクリスマス間近の学校生活を過ごしていく物語です。登場人物と歳が近いからこそ共感できる悩みや思いもあると思います。また、成長して読み返せば物語に登場する大人たちの心情も理解できるようになるのではないのでしょうか。主人公たちを側で支え見守ってくれる大人たちは、過去どんな少年だったのか、今どんな気持ちで主人公たちを見ているのか、想像が膨らみます。

NO
IMAGE

【933/ロ】『ハリー・ポッターと賢者の石』シリーズ

J.K. ローリング:作/松岡佑子:訳/静山社（文庫版もあります）

J.K. ローリング作ハリーポッターシリーズも、一から読み直してみることをおすすめします。一人の非凡な過去を持つ11歳の少年が、巻を経るにつれて傷つきながらも成長していく過程で、ホグワーツの校長ダンブルドアを始めとしたハリーを導いていく様々な大人たちからかけられる言葉の意味も、より理解できると思います。愛や生死、自分が何者なのか？など、小学生の頃では理解が難しい話が多く、小学生の頃は読みにくかった人も多いでしょう。彼らがハリーに送った言葉がどんな意味だったのか、今一度考えてみてはいかがでしょうか。

(5C・Y)

【電子図書館】『天体少年。』渡来ななみ:著/アスキー・メディアワークス

NO
IMAGE

題名からして天文系の内容かと思ってしまうかもしれませんが、ラブストーリーでございませう！天文学者の父親を持つ少女と暗闇の草原で出会った不思議な少年とのたった七夜のすれ違い続ける出会いと別れが書かれたものです。

私がこの本を読んだのは小学生の頃なのですが、今でも物語を鮮明に思い出せるほど記憶に残っており、思い出だけで胸がきゅっと締め付けられる想いになります。とて

も丁寧な文章で天文の知識も勿論一から説明してありますし何よりも主人公にとっても感情移入してしまうので、気づいたら物語に引き込まれていた！と思ったことが多々ありました！

こちらの本は私の方でリクエストを送らせてもらい、無事に電子図書館の方で購入いただけましたので！今まで電子図書館を使ったことがないよーという方はこの機会に是非ご利用ください！

(5C・0)

電子図書館はこちらからどうぞ

<https://www.d-library.jp/shinajo/g0101/top/>



図書委員会からおねがい

今年度の図書委員会は文化祭で古本市を実施する予定です！

もし不要になった本がありましたらぜひ図書室へお寄せください。

開室中であればいつでも構いません。お待ちしております。(図書委員会一同)

